

例1: 基本ケース		贈呈枚数
	第801回債を、A銀行(a口座)に1,200万円残高を保有している場合	金貨1枚 + 銀貨2枚

例2: 複数の金融機関 又は複数の口座で 同一回号の銘柄を ご購入した場合		贈呈枚数
	第801回債を、A銀行(a口座)に160万円、B証券(b口座)に270万円、計430万円の残高を保有している場合	<del>銀貨4枚</del> → 銀貨3枚
	第802回債を、A銀行のa口座に50万円、c口座に70万円、計120万円の残高を保有している場合	<del>銀貨1枚</del> → 銀貨0枚

例3: 同一の口座で 複数の回号を 継続して ご購入した場合		基準日の保有残高	贈呈枚数
	第801回債	250万円	銀貨2枚
	第802回債	1,350万円	金貨1枚 + 銀貨3枚
	第803回債	80万円	銀貨0枚
	第804回債	450万円	銀貨4枚
	累 計	2,130万円	<del>金貨2枚 + 銀貨1枚</del> → 金貨1枚 + 銀貨9枚

例4: ご購入後、基準日 までの間に 中途換金した場合		贈呈枚数
	第801回債を1,100万円購入後、2年目に400万円中途換金した場合(残高700万円)	<del>金貨1枚</del> <del>銀貨1枚</del> → 金貨0枚 + 銀貨7枚